

## (2) R7年度「保護者アンケートと学校自己評価」について

		保護者アンケート					学校自己評価	
番号			とてもよい・よい	あまりよくない	よくない	わからない		
		「とてもよい」「よい」の割合が、80%以上を示している項目に◎						
1	保護者の取組	学校から出される文書を読んでいますか。	◎	92%	8%	0%	0%	
2		参観日などの学校行事へ参加していますか。	◎	100%	0%	0%	0%	
3		お子さんと学校のことを話していますか。	◎	92%	8%	0%	0%	
4		P T A活動や学校のボランティア活動などに参加していますか。	◎	95%	5%	0%	0%	
5	教育目標	学校の教育目標や教育方針について、保護者会や学校ホームページ、学校だよりなどでわかりやすく伝えているか。	◎	92%	0%	0%	8%	
6	学校特色	特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色のある教育活動をおこなっているか。	◎	97%	0%	0%	3%	
7	施設管理	校舎内外の施設・設備の管理をしっかりとこなっているか。	◎	87%	3%	3%	8%	
8	家庭連携	保護者との連携を図り、開かれた学校づくりを進めているか。	◎	95%	5%	0%	0%	○
9	学習指導	学年の学習目標や学習内容を知らせているか。	◎	97%	3%	0%	0%	
10	学習指導	子どもが意欲的に授業に取り組むように工夫しているか。	◎	84%	3%	0%	13%	
11	学習指導	一人一人に応じたわかりやすい授業をしているか。		76%	3%	3%	18%	○
12	学習指導	基礎学力を身につける工夫をしているか。		76%	3%	5%	16%	
13	学習指導	個別懇談等で子どもの学習状況を的確に説明しているか。	◎	97%	0%	0%	3%	
14	道徳教育	豊かな人間性や心を育てる道徳の指導をしているか。	◎	84%	0%	3%	13%	
15	教育相談	子どもとのふれあいを大切にし、教育相談等で児童生徒理解に努めているか。	◎	87%	0%	3%	11%	○
16	特別活動	学級活動、児童会活動、学校行事で、子どもが生き生きと活動できるよう工夫しているか。	◎	97%	0%	0%	3%	○
17	生徒指導	基本的な生活習慣や規範意識の向上をはかるように指導しているか。	◎	89%	0%	3%	8%	
18	生徒指導	問題行動の予防と早期発見と対応に努めているか。		76%	5%	0%	18%	
19	健康指導	子どもが心身ともに健康な生活が送れるように指導しているか。	◎	95%	0%	3%	3%	
20	図書館	読書環境を整え読書に親しむ活動を進めているか。	◎	95%	3%	0%	3%	
21	情報指導	コンピュータの活用能力を高めるとともに、デジタルシティズンシップの指導に取り組んでいるか。	◎	84%	8%	0%	8%	
22	安全教育	子どもの安全を守る活動を積極的に進めているか。	◎	89%	3%	0%	8%	○

教員による学校自己評価平均が高い項目が○

### <保護者の取組について>

- ・4つの項目うち、「参観日などに参加しているか」の項目で「とてもよい」「よい」の合計は100%の評価でした。他の3つの項目でも90%を超え、すべての項目が◎となりました。保護者の皆様の日頃のご協力に感謝します。

### <教育活動の状況について>

- ・5～22番全体を通して数値平均は85%を超えており、昨年度より高い数値となりました。また、◎の項目も「10学習指導」「17生徒指導」「21情報指導」の項目で、昨年度よりも高い評価となりました。日頃の本校の教育活動にご理解を示していただいていると感謝します。

- ・学習指導について11番目の「一人一人にわかりやすい授業をしているか」と12番目の「基礎学力を身につける工夫をしているか」の項目の評価が低めで、「わからない」という回答が他より多くなっていました。

本年度は「自ら探究する」をキーワードに、子どもの自主性・主体的を引き出す単元・授業づくりをめざしてきました。具体的には、教員が子どもの自主的な学びの伴走者となって児童の学びをサポートできるように、発問の仕方や板書を工夫したり、子どもが見通しをもって学ぶことができるように、学習課題の設定や振り返りをしたりしています。また、「読解力」の育成に努めたり、学習用タブレットのQubenaを活用した学習を木曜日・金曜日の学習タイムに設定したりするなどして、基礎学力の向上を図っています。

まだまだ課題は見られますが、今後も授業力向上に努めてまいります。学習の様子は、学校ホームページ・学校だより・学年だより等で、保護者の皆様にお伝えするよう努めます。

- ・生徒指導について、18番目の「問題行動の予防と早期発見と対応」の項目が低めとなっています。

問題行動については、相談活動を充実させることで早期発見に努めています。今年度は、友達アンケートを毎月行いました。また、全校児童を対象に養護教諭による健康相談を順次行い、スクールカウンセラー、心の相談員、校務支援員が、積極的に児童とふれあうことで、児童を複数の目で見守るよう努めています。また、各学級で学習用タブレットによる「先生たすけて」の使い方を確認し、直接悩みを伝えられない場合に利用できることを伝えました。今後も児童が相談しやすい環境づくりに心がけます。

さらに、「子どもを語る会」を毎週木曜日を実施しています。問題行動の兆しが発見されたときは、複数の教員で連携しながら解決に向かっていきます。

これらの活動について保護者の皆様に周知できるよう、学年、学校だよりや懇談会等でお伝えするよう努めてまいります。

<主なご意見について>

- ・4月の地域訪問が希望制で、担任の先生と直接話せるのがとてもありがたいです。
- ・全校児童の仲がよくて、とても幸せなことだと思っています。
- ・いつも個別に学習目標の設定をしていただきありがとうございます。
- ・運動会やともえっ子フェスティバルが、子どもたちにとって、正解のない問いを考えるいい機会になっていると感じています。今後もこういう機会を大切にしてもらえるとありがたいです。
- ・運動会で、子どもたちが勝敗や成功のみにこだわりすぎずに、ただ一生懸命に競技や演技をしている姿が見られて、嬉しかったです。
- ・いつも感謝しています。運動会で一輪車演技に4年生が難しいポジションを堂々と演じていることに驚きと、1年生のときからこの日を夢見て練習していた彼らの姿を思い出し、感動でいっぱいでした。
- ・運動会の赤、白対抗、高学年徒競走、タグ取りの大將戦、玉入れ、綱引き、色々と無くなっていくものも多く、親子で楽しみにしていたものもあったので、少し寂しく感じました。20周年があったので時間などの調整が必要だったことは理解しています。  
➡親子で楽しみにしていたものがなくなり、寂しい思いをさせてしまい申し訳ありません。毎年子どもたちにとって、運動会やともえっ子フェスティバルなどの行事がよりよいものとなるように検討しています。新たなものを取り入れると、減らすこともあります。ご理解いただきありがたいです。
- ・運動会の日歩いて坂を上ってきたところ、歩道横斜面の草が伸びて半分歩道を塞いでいました。  
➡校内整備員や公務手などと連携しながら、校務主任を中心に環境整備を進めてまいります。
- ・昨年度から運動会が秋に変更になりましたが、環境美化活動は初夏のままでよいのか疑問です。  
➡暑い時期の環境美化活動へのご協力ありがとうございます。草の成長を考えると、この時期に草取りを行うことが有効だと考え設定しています。昨年度よりも短い時間で行うように配慮しながら進めてきました。1年に一度しかない環境美化活動です。来年度も短時間で行えるようにしていきますので、是非ご協力お願いいたします。
- ・学習用タブレット以外からも回答できると助かります  
(質問 20,22 の回答の選択肢の順番が違って気になりました)  
➡選択肢の順番が違ってお手数をおかけし、すみませんでした。学習用タブレットからの回答は豊田市教育委員会からの指定になりますので、ご協力ください。

- ・先生によっては注意する際に、怒鳴るときもあると聞きます。時と場合によると思いますが、伝え方を大事にしてほしいです。
- ・暴言をはく先生がいます。
  - ➡ご指摘ありがとうございました。教員は子どもたちにとって、長い時間接する大人です。子どもたちの心を傷つけないように襟を正します。注意の仕方や言葉の遣い方については研修をし、今後も気を付けていきます。
- ・タブレットの光が強すぎないか、目への影響を懸念しています。
  - ➡タブレットの使い方については、姿勢も含めて学校で指導をしています。ブルーライトの懸念をされているようですので、使用時間や画面の明るさ調整などをしながら、適切に使用できるようにしていきます。
- ・あゆみについて  
数字だけのものを説明もなく渡され、自己肯定感を下げってしまう可能性があるのでは、子どもたちにとって成績表はいらなないと思いました。  
何ができていなくて、何をどう頑張ったらよいのか説明がないので、フォローができず、家庭での話にも困りました。通知表の廃止を願います。自己保管だと、親が確認しない可能性もあるのでは？と思いました。
  - ➡前期、後期2回子どもたちの頑張りを伝えるために、通知表（あゆみ）を発行しています。担任は、渡すときに子どもたちに頑張ったところやもう少し頑張るとよいところなど具体的に伝えていきます。上手に伝わらない部分があり、申し訳ありませんでした。今後丁寧に説明ができるように改善していきます。昨年度まで、本校ではあゆみを回収し学校保管としていました。しかし、あゆみを手元に置いて、いつでも振り返りができるようにした方がよいと考え、豊田市の多くの学校がしているように回収せずご家庭で保管という形にしました。ご理解をいただけるとありがたいです。
- ・月例テストは最低限の基礎の問題 10～20 問程度にするとか、奇数月のみにするとか、やりすぎないことを希望します。また、子どもたち全員の生涯に渡り必要な力だと思われる内容にしてほしいです。
  - ➡ご意見ありがとうございます。月例テストは子どもたちの実態を踏まえ、学力をつけるために必要だと感じる場合に担任の裁量で行っています。取り組む場合は、子どもたちの過度な負担にならないような方法や内容を考えていきます。